



災害に備えよう！～愛猫編～



災害は突然起こります。

愛猫のために、日頃から対策をしておきましょう！



1. 自宅の減災

住み慣れた自宅で過ごせる在宅避難は、猫にとっても負担が少ないです。家具の転倒防止など、自宅の減災対策を進めておきましょう。また、猫が逸走してしまうとその後の捕獲が困難なため、災害があっても猫が自宅から飛び出さないような対策が必要です。

2. 避難用品の備蓄

地域防災拠点には、フードやケージ等、ペット用品の備蓄はありません。

また、支援物資が届くまでは日数を要するため少なくとも5日分（できれば7日分）以上備蓄しておきましょう。避難先の飼育スペースではケージにタオルをかけて目隠しすると猫も落ち着きやすいので、避難用品に入れておくといでしょう。また、洗濯ネットがあると猫の保定に便利です。

3. 預け先の確保

猫は犬に比べて環境の変化がストレスになりやすい動物です。

あらかじめ、猫が落ち着いて過ごせる一時預け先を確保しておくことで安心です（親戚、知人、ペットホテル等）。

4. 飼い主の明示

万が一、猫が逸走してしまった場合に備えて、首輪に迷子札を着け、マイクロチップも装着しておきましょう。

5. しつけ

地域防災拠点では、ケージでの飼育管理が基本です。

避難した場合に備えて、日ごろからケージに入っても落ち着いて過ごせるようトレーニングしておくことがポイントです。

6. 健康管理

不妊去勢手術、混合ワクチン接種、ノミ・ダニ等の駆除を行っておきましょう。

7. 避難場所・避難経路の確認

発災時、安全かつスムーズにペット同行避難ができるよう、地域防災拠点のペット受け入れ体制の確認とペットを連れて避難できる経路を把握しておきましょう。



災害時の対策について、
横浜市動物愛護センター
ホームページもご確認ください。

横浜市 ペット 災害

検索



発行元：横浜市動物愛護センター

〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町75-4

TEL：045-471-2111 FAX：045-471-2133

令和8年8月改訂

